

令和4年10月度栗東市教育委員会定例会会議録

開催日時 令和4年10月28日(金) 13:30～14:50
開催場所 庁舎 4階 第1委員会室
出席委員 教 育 長 安土 憲彦
教育長職務代理者 田中 和子
委 員 内記 一彦
委 員 朽木 徳壽
委 員 太田 加代子
事務局出席者 教育部長(川崎)、子ども青少年局長(小林)、教育部次長兼スポーツ・文化振興課長(小山)、教育総務課長(大角)、学校給食共同調理場所長(西江)、学校教育課長(黒川)、生涯学習課長(赤井)、幼児保育課長(内田)、幼児施設課長(村瀬)、人権教育課長(松浦)、図書館長(西村)、学校教育課課長補佐(安岡)、書記(小林)

会議を傍聴した者 一般傍聴者 0人 市政記者等の傍聴者 0人

開会宣言 13:30

教育長

ただいまから令和4年10月度教育委員会定例会を開会いたします。
日程に従い、進めさせていただきます。「日程2 市民憲章唱和」をお願いします。

市民憲章唱和(人権教育課長)

教育長

それでは、次第に従いまして会議を進めさせていただきます。
「日程3 教育長公務状況報告」について、私から報告させていただきます。10月1日(土)教育委員会委員任命式、2日(日)市政功労者表彰式、3日(月)議会運営委員会、議会本会議再開・委員長報告・採決、委員長会、議会説明会、4日(火)栗東市初任者研修(訓話)、5日(水)同和対策本部幹部会議、6日(木)県人事訪問:金勝小学校・葉山小学校・大宝東小学校・治田小学校、7日(金)栗東市行政改革懇談会、11日(火)県人事訪問:大宝西小学校・葉山中学校・大宝小学校・栗東西中学校、13日(木)近畿都市教育長協議会研究協議会(奈良県奈良市)、14日(金)県人事訪問:治田東小学校・治田西小学校・葉山東小学校、15日(土)森田まさのりコーナー開設記念式典、大宝西ふれあい解放文化祭、18日(火)滋賀県都市教育委員会連絡協議会県内研修、19日(水)栗東文化芸術会議、21日(金)県人事訪問:栗東中学校・栗東市教育委員会、栗東市議会臨時会、2

7日（木）定例校長会、28日（金）教育委員会定例会です。予定としまして、31日（月）～11月1日（火）滋賀県都市教育委員会連絡協議会県外研修（長崎県長崎市）です。

以上でございますが、何かご質問ございましたら、お願いします。

教育長

ないようですので、次に進めさせていただきます。

続きまして、日程4 報告事項①各課（館・所）の「10月度事業進捗状況について」報告をお願いします。

教育総務課長から順次報告

教育長

報告事項①各課（館・所）の「10月度事業進捗状況について」について、質問等はありませんか。

田中教育長職務代理者

3点教えていただきたいと思います。まず、1点目は学校給食共同調理場の給食物資入札・選定ということですが、地産地消という観点からお伺いします。栗東産のお野菜が中心になるかと思いますがそれは全体のどれくらいの割合になっているのでしょうか。2点目は歴史民俗博物館の事業で他市からたくさん子ども達が博物館教室に来られて栗東市としては嬉しいなと思います。だんだんコロナも収束して交流が図られていて良い方向だなと思います。学年とか内容とか決まっていって発信もされていると思いますが、詳細が分かりましたらお願いします。3点目に図書館は秋は読書週間ということで日ごろ以上に取組をされていると思います。一人でも多く本好きな活字文化に触れていただき、増えていったらいいなと思います。先般、守山市の図書館に寄せていただきましたら、新しい図書館ですのでとても素晴らしく、良いなと思うところもたくさんありました。その中で本の展示について、大人向けは著者名のあいうえお順に並べてあって、それは一緒だと思っていたんですが、児童用の図書について、守山市の方は本の題名のあいうえお順になっていました。そのあたりで参考になることがあれば教えていただきたいと思います。

学校給食共同調理場所長

お米につきましては、栗東産環境こだわり米を使っておりますが、数字的なものにつきましては滋賀県産になるんですが、割合としては令和3年度の数字になりますが35.5%です。

田中教育長職務代理者

コシヒカリですか。

学校給食共同調理場所長

はい。コシヒカリです。野菜ですと例えばニンニク・とうばん・ナス・きゅうりとか10月で使われている状況です。

教育長

栗東市としてのくくりはないのですか。

学校給食共同調理場所長

ございません。

田中教育長職務代理者

給食感謝週間のときに栗東の地産地消で育てられた方と子どもと一緒に給食をいただいたことがあります。子ども達がいただいているこの野菜はおじちゃんが作った野菜だよと担任の先生がおっしゃっておられた場面がありました。また栗東産というアピールが出来たらいいなと思うところです。

学校給食共同調理場所長

農家の方と一緒に食べるという特別給食というのを実施していたのですが、コロナで控えております。

教育部次長兼スポーツ・文化振興課長

歴史民俗博物館の博物館教室の件につきましては、市内・市外関わらず小学校3年生の社会科単元の一つに昔の暮らしという分野がございます。それを旧中島家住宅が現物としてありますので、体験ということでお越しいただいているところです。学校によって参加していただいている児童数は違いますけれども、多くの子ども達がお見えになっている学校につきましては、中島家住宅と研修室と館内の展示室の3ブースにわけて分散して見学していただいています。今年度は6月に近江八幡市の学校から来られていますが、春と秋の社会科見学として来られています。市内の小学校については社会の教科書の単元の進み具合が年明けになるようで1月2月頃に来られています。11月に大宝東小学校、1月に治田東小学校、治田西小学校、2月に葉山東小学校から申し込みを聞いております。

図書館長

本の並べ方ですが、絵本が館によって若干変わっているかと思えます。おっしゃっていただきました画家で並べておられるところもありますし、栗東は絵本だけは出版社で並べております。どちらも一長一短になっているのですが、例えば画家でしたら同じ絵の作者が揃う形になりますし、出版社ですと、その出版社がどういう思いでその絵本をシリーズであったり、子どもの友の0・1・2、対象の子どもに読んでもらいたいというシリーズ

をまとめることができます。成長の過程ではその部分の選んでいただくというのが非常に有効かと思っておりますので、現在、当館においては出版社の配置を選択しております。

田中教育長職務代理者

ありがとうございました。森田まさのりさんのコーナーも新しいことで素敵なことだと思っております。全国的に有名になりましたので。森田まさのりさんは大宝小学校の卒業生で図工の時間にざるに乗せたさんまの絵が最優秀賞になりまして、ずっと大宝小学校の図工室に飾ってありまして、何年かしてから返してほしいと申出があり、持ち帰られたというエピソードを思い出しました。

教育長

他に何かがご質問はありませんか。

それではないようですので、以上で各課の10月度事業進捗状況について終了させていただきます。

次に報告事項②「児童生徒数出勤・出席状況について」報告をお願いします。

学校教育課長、幼児保育課長から順次報告

教育長

ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見はありませんか。

教育長

ないようですので、報告事項②「児童生徒数出勤・出席状況について」を終了します。続きまして、報告事項③「全国学力・学習状況調査結果について」説明をお願いします。

学校教育課課長補佐より説明

教育長

ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたら、お願いします。

内記委員

毎年、学学調査をしていただいてまして、最後に言われたように数字にこだわるわけではないんですが、例年正答率が全国平均を滋賀県が下回って、滋賀県の平均を栗東市が下回っているという状況で、ここには全体の平均が書いていないんですけど、各科目別をみてもその傾向にあると捉えられる。ということは、毎年、人は6年生と3年生と変わっておられる中で数値的に同じような正答率が出ている。色んなくりちゃんチャレンジ等で頑張っていたらと、児童生徒も変わっている、先生も変わっているということです。

が、学校クラスによっては違いがあるかと思うが、その辺りに指導的に問題があるのか
ないのか、教育委員会の学習指導の答申に何か課題があるのではないかと思うのですが、
そのあたりの見解はどうですか。

学校教育課課長補佐

正直に言いまして学校毎の平均というのが異なっています。どこにつまづきを持っている
のかというのは学校毎に違います。大事なことは各学校毎に教育委員会がどうアプロ
ーチしていくかということだと思います。各学校毎のデータを把握していますので、学校訪
問をしたときにこういう指導をとという話をさせていただいています。毎年たしかに児童生
徒は変わっていくのですが、学校毎にアプローチをしていく必要があると思っています。

内記委員

平均化すると毎年同じような数値が出ている。何か課題があるのではないか。年によ
って学校によって、ここは頑張っているという年も出てきてもいいのではないかと思う。指
導が平均化しているということか。

学校教育課課長補佐

職員も変わっていますので。

学校教育課長

全国的に学力向上については指導改善に取り組んでいる認識でいます。全県的にも栗東
市だけに指導能力のない教員が集まっているということでもありません。各市町人事交流
しながらどの市町においても同じ水準で指導できるように人事上配慮しているところ
です。栗東市も頑張っているけど、他も頑張っているということなので、なかなか全国平均
に到達することが出来ない状況ですが数年の学校の状況をみてみますと、位置が変わっ
ています。以前、低のところの学校が上がってきて、高のところの学校が下がってきて
いるなど、浮き沈みもあつたりします。それはそれぞれの学校のその時の教育課題があり
ます。いずれにしましても、毎年なかなか厳しい状況が続いている状況で何とかしたい
という思いは教育長はじめみんなが思っているところで、このNextというのも一つの
新しい枠組みで進めていくことで、すぐには結果が出てこないと思いますけども、
学校と学校以外の周りの地域や保護者、社会全体で子ども達を育てていきたいと思
っております。

内記委員

先生方にそんなに差異はないと。また、校風というか地域性もあるのかな。

学校教育課長

おそらく地域性もあるかと思います。子ども達の生活状況とか経済状況もこの学力に影

響があるかと思えます。そういった意味で地域によって特徴があると思えます。それぞれの地域に応じた教育授業がちゃんと出来ているかというところはしっかりと見ていかないといけないと思っております。

太田委員

全体的にみて、力のついている点とか、記述が力がついてきたというところもあると思えますけど、国語だけに限らず算数、数学、理科など読み解く力が全体的についてないのかなと感じます。幼少期から先程、図書館の話でもありましたが、幼少期から活字に慣れ親しんでもらいたいということで、そこから絵本に対する理解などの積み重ねが必要なのかなと思えます。小学校では3年4年生くらいになると自学自習というのがすごく押されてやっていますけど、それは多分幼少期から本を読むのが好きで理解が出来る子とか自分で進んで物が考えられる子は自学自習はいいとは思いますが、本に慣れ親しんでいない苦手な子は自学自習といわれても何をしたいのか分からない。ただ計算をする、漢字を書くというのを、何もしないよりはいいとは思いますが、結果に後々繋がっていかないものもあるのかな。低学年のうちから自分で考えてやっていくという道筋をつけるためにも先生の方からアドバイスのこういう風なやり方を具体的に示してあげて後々の高学年に繋がっていったらいいなと思うのと、正解率は高いけど無回答率も高い、誤った回答率も高いとなると、ただ単に勘違いだけで間違っているのか、理解できずに間違っているのかということもあると思えます。理解できていないのなら、理解をしてあげて次に進めるようにもう一度その理解できるように先生方大変だと思うんですけど、分からないまま進めるのではなくて、理解できるようにアドバイスしてあげてほしいなと思えます。前向きに回答しようとする意欲を持つような指導をしてあげてほしいと思えます。最後の表の方でいじめに対して、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うのが96%と高いのはいいことだと思うんですが、残りの4%くらいはそうは思っていないということなので、その4%にも目を向けた方がいいと思えます。先日もいじめの被害を受けてる子とか引きこもりになっている子、自殺を考えている子とかの率が過去最高になったという報道もありました。それに対していじめはいけないと思っているんだけど、そうは思っていない子がいることも確かなので、そういう子達に注意じゃないですけど、目を向ける必要があると思えます。

学校教育課長

たくさんご指摘ありがとうございます。おっしゃること全てごもっともだと思います。現場で深く考えて日ごろの指導をしていかないといけないと思えます。日ごろの教育活動でしっかり活かしていけるように市としても取り組んでいきたいと思えます。

田中教育長職務代理者

この提案の仕方が非常に分かりやすく、ありがたかったです。成果と課題、具体的に

記載していただいてよかったです。記述式というのは非常に問題が難しいです。問題が高度なので、だからといって出来ていなくて当然とは思っていません。多くの子どもが分かるような授業を展開していても、Bという問題は非常に高度な問題があるのもあるかと思えます。期待するのは、時間がかかるとは思うんですけどNextプロジェクトが栗東市民あげて進めていていただきたいと思います。時間はかかるとは思いますが、粘り強く各課が連携をしていただいて、学校教育課だけではなく、多くの課で進めるという素地があって、そして現場では授業改善ということを大事にしていると思うので、継続して続けてほしいと思います。研究授業というのはなかなか時間がとれない時代になってしまったので、研究授業をする楽しさ醍醐味を先生方が体感して下さったらすごくいいのになと思うところです。それにはやはり働き方改革で取り組まないと日々の指導に追われて後手に回っているので、ジレンマを感じる場所です。特に中学校で指導案が書けないという先生がいないかなと心配しています。くりちゃん検定というのが中学校では独自の取り組みに変わりました。家庭がそれぞれ違いますから、家庭での語彙力も違いますし、経済力というのがあまり言いたくはありませんが、結構大きな要素でもありますので、その辺りも加味しながら皆が一步ずつ進めていければいいなと思います。また、授業の中で子ども同士が教えあうというのも、先生方がもっと意欲が出てくるのかなとも思ったり、期待しておりますので、一緒に共に頑張って栗東の子を知識の賢さではなく知恵のある賢さに育てていきたいなと思っています。よろしくお祈りします。

教育長

ありがとうございます。貴重なご意見ありがとうございました。先程も田中委員からもありました、だからこそNextが必要なんだというようなところは我々も考えているところは同じでそもそも子ども達をみても、何で勉強をせなあかんのかなとか、勉強をする以前でとまっている部分が見受けられると思います。先程も意欲ややる気という話が出ましたけれど、非認知能力を勉強したいなという気持ちにならないと学力は上がりません。そういった部分をNextでつけていく、あるいはそういう環境を作っていくというのが非常に大事だと思いますし、やる気の部分を子ども達に持たせていけるように幼少期からの繋がるような取り組みを教育委員会としても取り組んでいきたいと思えますし、結果はすぐには出ないかもしれませんが、それを続けることによって10年後20年後にベースの部分が上がれば、おのずと力もついてくるのかなとそういう思いをしております。特に記述式はやる気がないと書けませんので、頑張ってみようという気持ちを持たせるということも含めて幼少期からチャレンジする気持ちとか持ってもらえるようにしていかないといけないと思います。今後もよろしくお祈りします。それでは、報告事項③「全国学力・学習状況調査結果について」終了いたします。

教育長

次に日程5 その他①「各課からの報告事項について」ございましたら挙手にてお願いい

たします。

人権教育課長より

・栗東市人権啓発作品募集及び人権文化事業について」報告

教育長

ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたら、お願いします。

教育長

ただいまの報告について、ご質問やご意見等ございましたらお願いします。このほか、各課から報告事項がございましたら、お願いします。

教育長

それでは他にないようですので、これでその他①「各課からの報告事項について」終了させていただきます。

それでは、次に、その他②次回11月度教育委員会定例会の日程についてお願いします。

教育総務課長

11月の定例会の日程については、11月24日（木）13時30分からでいかがでしょうか。

教育長

ただいまの定例会の日程について、皆様ご都合はいかがでしょうか。

全委員

24日（木）でよい。

教育長

次回定例会は11月24日（木）13時30分からでお願いします。

教育長

本日予定しておりました日程はすべて終了しました。これをもちまして、10月度教育委員会定例会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

閉会宣言 14：50